

平成25年10月臨時教育委員会会議の要旨

- 1 日 時
平成25年10月7日（火）
開会 15時 閉会 15時41分
- 2 場 所
教育庁教育委員会室
- 3 出席委員
委員長 村上 智真
委員長職務代理者 稲野 靖枝
委員長職務代理者 山縣 俊郎
委員 岡野 芳子
委員（教育長） 田邊 恒美
- 4 欠席委員
委員 中田 範夫
- 5 出席者
教育次長 上野 清
教育次長 竹本 芳朗
審議監 小西 哲也
審議監 河村 行則
教育政策課長 河村 邦彦
教職員課長 廣川 晋
義務教育課長 清時 崇文
高校教育課長 岩本 龍治
特別支援教育推進室次長 石本 正之
社会教育・文化財課長 藤村 恭久
世界アウトジャンボリー開催支援室次長 河村 祐一
人権教育課長 尾崎 敬子
学校安全・体育課長 栗林 正和
教育政策課企画監 濱井 昭巳
やまぐち総合教育支援センター次長 十河 悟

委員長選挙

◆平成25年10月9日以降の教育委員会委員長を決める選挙が行われた。

【概要】

現委員長の任期が平成25年10月8日までとなっていることから、平成25年10月9日以降の委員長の選挙が指名推選により行われ、下記のとおり決定した。

記

- (1) 氏名 やま がた とし ろう 山 縣 俊 郎 (新任)
- (2) 任期 平成25年10月9日から平成26年10月8日まで(1年間)
- (3) 備考 教育委員任期：平成20年3月17日から平成28年3月16日まで
(現在2期目)

議案

議案第1号『山口県教育委員会表彰規則による表彰について(報告承認)』

【概要】

下関市立勝山中学校養護教諭 もりなが 森永 まゆみ 真由美及び下関市立豊東小学校教諭 いいだ 飯田
ともあき 智亮並びに山口県立宇部西高等学校教頭 すえなが 末永 つとむ 勉 に対して、教育長が臨時に代理して永年精勤として表彰したことを報告し、承認された。

報告事項

◆『山口県子ども読書活動推進計画（第3次計画）の策定』について、報告された。

【概要】

平成21年3月に策定した「山口県子ども読書活動推進計画（第2次計画）」から4年を経たため、「山口県子ども読書活動推進計画（第3次計画）」計画の策定について報告したものを。

1 趣旨

次代を担う子どもたちが、それぞれの発達段階に応じて、本に親しみ、本を楽しむことができるような環境づくりに社会全体で取り組んでいくことを目指し、「子ども読書活動推進計画（第3次計画）」を策定する。

2 これまでの経緯

年・月	区分	内 容
H13.12	国	「子どもの読書活動の推進に関する法律」制定
H14.8	国	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定 (計画期間：5年間 14年8月～19年8月)
H16.10	県	「山口県子ども読書活動推進計画」策定 (計画期間：4年間 16年10月～20年3月)
H20.3	国	「第2次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定 (計画期間：5年間 20年3月～25年3月)
H21.3	県	「山口県子ども読書活動推進計画（第2次計画）」策定 (計画期間：4年間 21年3月～25年3月)
H25.5	国	「第3次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定 (計画期間：おおむね5年間 25年5月～)

3 県の「山口県子ども読書活動推進計画（第3次計画）」について

(1) 計画年度

25年度～29年度（おおむね5年間）

(2) 策定手法

「山口県子ども読書活動推進協議会」において、意見や助言をいただきながら検討を進める。

(3) 策定スケジュール

H25.10月8日 第1回協議会（前計画の取組状況と課題）
H25.10月下旬 教育委員会会議（骨子案協議）
H25.11月 第2回協議会
H25.11月下旬 教育委員会会議（素案協議）
H25.12月中旬 文教警察委員会（素案報告）
H25.12月～1月 パブリックコメント
H26.2月中旬 第3回協議会
H26.2月下旬 教育委員会会議（最終案協議）
H26.3月中旬 文教警察委員会（最終案審議）
策定・公表

◆『世界文化遺産の政府推薦案件の決定』について、報告された。

【概要】

山口県萩市にある5つの構成資産を含む「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」が平成25年9月 国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）への政府推薦案件として決定されたことが報告された。

1 名称 「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」

2 遺産の所在地

福岡県……北九州市，大牟田市，中間市	佐賀県……佐賀市
長崎県……長崎市	熊本県……荒尾市，宇城市
鹿児島県…鹿児島市	山口県……萩市
岩手県……釜石市	静岡県……伊豆の国市

3 推進体制

関係地方公共団体の連携のもとに，世界遺産への登録を推進するため，平成20年10月29日，関係6県11市により鹿児島県知事を会長とする世界遺産登録推進協議会を設置した。（現在は，8県11市体制）

また，登録に必要な専門的な調査研究を行うため，海外専門家として，ニール・コソン卿（元イングリッシュヘリテージ総裁）ほか9名，国内専門家として，西村幸夫氏（東京大学先端科学技術研究センター所長）ほか7名，計16名からなる専門家委員会を協議会に設置している。

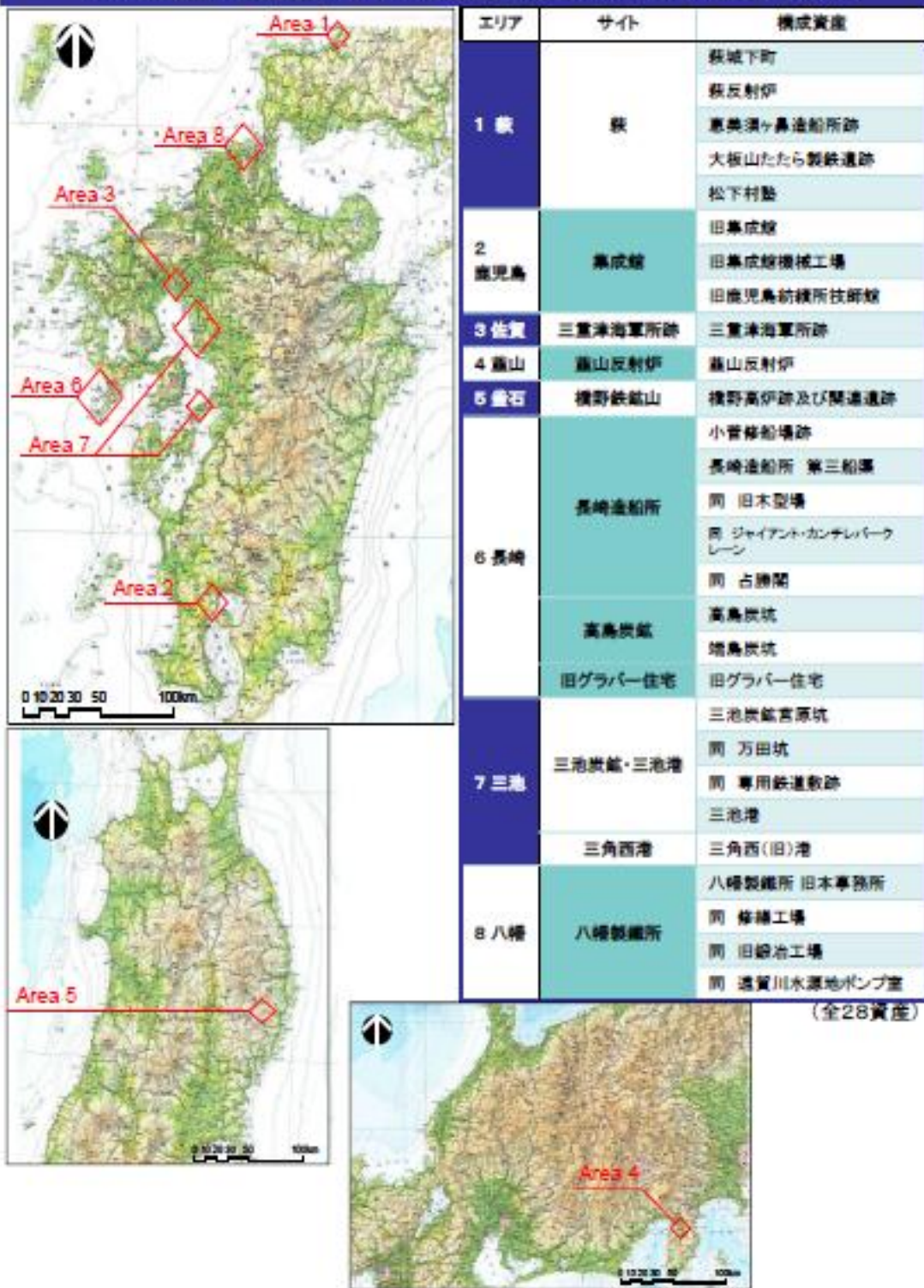
4 主な取組経緯

- ・平成18年 6月 九州地方知事会の政策連合項目として，「九州近代化産業遺産の保存・活用」が決定し，関係県での取組へ発展
- ・平成20年 9月 文化庁において世界遺産暫定一覧表への追加記載決定
- ・平成20年10月 月関係自治体による世界遺産登録推進協議会を設置
- ・平成21年 1月 ユネスコの世界遺産暫定一覧表へ追加記載
- ・平成23年 2月 専門家委員会が推薦書原案を取りまとめ
- ・平成24年 4月 庁内に「世界文化遺産推進室」を設置
- ・平成25年 4月 専門家委員会が推薦書案等の最終的な取りまとめ
総会での決定を経て，推薦書案を国へ提出
- ・平成25年 8月 「稼働資産を含む産業遺産に関する有識者会議」において，推薦案件候補に選定
- ・平成25年 9月 「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」が政府推薦案件として決定

5 資産の概要

本推薦資産は明治期の重工業（製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業）における急速な産業化の道程を時間軸に沿って証言する産業遺産群（現役産業施設を含む）により構成されている。推薦資産を構成する資産は九州・山口地域を中心に、全国8県11市に立地し、地理的に分散をしているが、群として資産全体で世界遺産価値を有し、一つの範囲を構成している。

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」(仮称)構成資産分布図



【 質 疑 】

- 岡 野 委 員：大事なのは、地元や県民の盛り上がり。シンポジウムや講演会等を開催すると思うが、山口県みんなで応援するという機運醸成の取組をお願いする。
- 社会教育・文化財課長：そのとおりと考えている。地元、萩市の盛り上がりとともに、山口県全体としての取組が重要と考えているので、しっかりと取り組んでいきたい。